

## 選果施設整備による梨産地強化

事業名：経営構造対策事業（平成 12 年度認定）  
 地区名：三重県上野市白鳳地区（H16.11.1 合併により伊賀市）  
 事業主体：伊賀北部農業協同組合  
 管理主体：農事組合法人 白鳳梨生産組合  
 施設名：農畜産物集出荷貯蔵施設 梨選果機一式（H 12）  
 事業費：44,837 千円（国費：21,351 千円）

### 1. 組織の概要

- (1) 組織名：農事組合法人 白鳳梨生産組合
- (2) 構成員：23 名
- (3) 設立年月日：昭和 41 年
- (4) 業務内容等：梨栽培（共同防除等）共同選果
- (5) 連絡先：[農事組合法人 白鳳梨生産組合]  
 三重県伊賀市羽根 405-1 番地  
 0595-21-5862  
 [伊賀北部農業協同組合]  
 三重県伊賀市四十九町 1294 番地  
 0595-24-5111（代表）

### 2. 取組概要

#### (1) 施設導入経緯

当地区は、昭和 30 年代頃より水田を集团的に果樹園に転換した日本梨の生産地である。昭和 41 年に共同の選果場が整備されたのを契機に白鳳梨生産組合が設立された。

従来は、重量式選果機で各等級に選別し、関西市場を中心に出荷されていたが、市場関係者等から、味は良いが、個々の大きさにバラツキがあるとの指摘を受けることになり、品質の均質化による市場評価向上を図ることが課題となってきた。

このため、平成 10 年度白鳳梨生産組合総会において、選果機更新に関する意見が組合員より出され、生産組合・行政・JA 等関係機関が集い、先進地視察研修や梨組合例会において検討を重ね、平成 12 年 3 月に既存の選果機を高性能センサーカメラによる形状選果方式の選果機へ JA が整備して生産組合にリースすることを決定した。

#### (2) 取組概要

選果機の選果効率向上により、出荷ピーク時期に夜遅くまでかかっていた選果作業による生産者の過重な労働負担が軽減し、担い手農家の生産規模拡大の意欲を醸成している。また、各等級の品質均一化を図ることにより市場評価を高め、販売単価の安定・向上、加えて選果コストの低減を進めることにより産地強化を図るとともに、担い手農家の経営安定・育成に取り組んでいる。

### 3. 目標設定

#### (1) 全国共通目標

認定農業者の育成					担い手への農地の利用集積 上段：集積率(%)、下段：面積(ha)			遊休農地の 解消	
計画時 (人)	目標 (人)	増加率 (%)	市町村目標割 合(%)	地区目標割合 (%)	計画時	目標	増加ポ イント	計画時 (ha)	目標 (ha)
6	10	166.7	5.1	8.4	(4.9%) 6.6	(20.0%) 27.0	15.1	0.0	0.0

#### (2) 地区選択目標

販売数量の拡大(梨)		家族協定の締結	
計画時(t)	目標(t)	計画時(戸)	目標(戸)
245.0	319.0	0	3

### 整備施設

施設全景



梨選果機

